

### 三段峡 猿飛と二段滝、三段滝

猿飛は二段滝(文字どおり、「二段になっている滝」の意味)の入り口です。二段滝は三段峡の中央にある水梨口から徒歩でおよそ30分の場所にある「隠れた」滝です。水梨口は三段峡正面口から徒歩でおよそ2時間半、週末および11月の毎日に1日1本出ているシャトルバスでは30分かかります。二段滝には舟で行くこともできます。4月中旬から11月下旬まで、週末と休日に(秋の紅葉シーズン中は毎日)営業している小型の舟は川に浮かぶ木製のデッキから出発します。この舟は観光客を二段滝までおよそ5分で連れて行ってくれます。船頭は崖から吊るされているケーブルを使いながら、舟を操って猿飛の狭い通路を抜けて行きます。

この通路は幅およそ2mで、コケで覆われた高さ20mの崖に乗客が手を差し伸べて触れられるほど狭いものです。舟がこの通路を通って開けた場所へと向かうあいだ、乗客はこの崖の影が、夏の緑豊かな木々や秋の燃えるような紅葉が作り出す景色と対照を成している様子に気付くでしょう。舟が自然の通路を抜けて滝のある雄大な淵に辿り着くまで、二段滝は聞くことも、見ることも、感じることもできず、まるで隠された秘密の場所のようです。舟が通路を抜けると、水の色はアクアマリンから急流の白へと変わり、間もなく二段滝の轟音が聞こえるようになります。

舟は滝から勢いよく流れ出る水の降り注ぐデッキにしっかりと固定されます。観光客はそのデッキに足を踏み入れて、滝を間近で見つつ、その水しぶきを感じることができます。元々は「二段」の階段状になった滝でしたが、1段目の岩壁が1988年の集中豪雨によって剥がれ落ちました。淵の中央にあるデッキの上に立つのは、自然にどっぷりと漬かっている気分を味わうチャンスです。

水梨口を起点とする遊歩道から行けるもう一つの目的地は三段滝です。この3段、高さ130mの滝は遊歩道全体を通して特に注目すべき場所の一つです。この階段状の滝は3段の滝を下り、穏やかな青緑色の淵の中へと流れ落ちます。三段滝は夏と秋を通じて絵のような美しさを見せる手付かずの森に囲まれています。